

## “どう向き合う ネット問題”

義務教育課

### はじめに

情報モラルの指導は、小学校低学年から発達の段階に応じて系統的に実施することが重要です。

今回は、県教育委員会が取り組んでいる「学校ネットパトロール事業」及び「大学生ネット指導者キャラバン事業」を通して、ネット問題への対応を考えます。

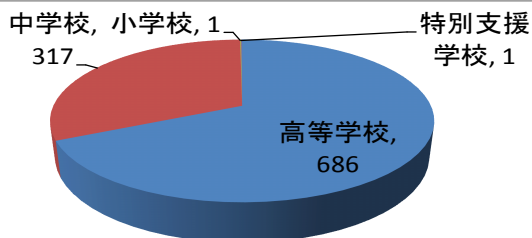
### 学校ネットパトロールで監視

平成29年2月末現在、問題のある書き込みの総検出件数は1,005件です。

検索回数

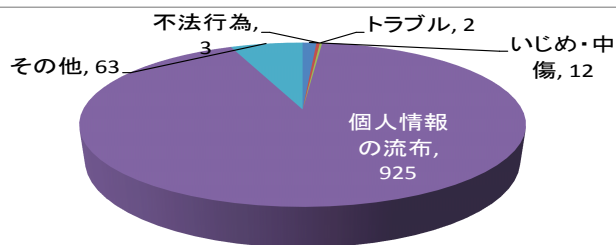
(小1回 特別支援1回 中2回 高4回)

### 【学校種別検出件数】



H27年度より問題のある書き込みは、増加している。

### 【内容別検出件数】



氏名や学校、住所等が特定されるような投稿（個人情報の流布）が最も多く検出され、安易に個人情報等を投稿している実態が伺えます。

児童生徒に対して特に指導したい4点です。

- \* 書き込んだ写真や文章は**公開される可能性がある！**
- \* インターネット上では、**匿名性はない！**
- \* インターネットは、即時性・広域性があり、いったん送信すれば**取り消せない！**
- \* 不適切な発信により**人生に影響するかもしれない！**



携帯電話等の所持の責任者は保護者です。機会を捉えて保護者への啓発を行いましょう。

(入学説明会, PTA総会, 教育講演会など)

① **フィルタリング** ② **家庭内ルール**の設定 など

### 大学生と一緒に考えよう！

～大学生ネット指導者キャラバン事業～

本年度もネットトラブルやSNS利用に詳しい大学生と教員が共に授業を行う「大学生ネット指導者キャラバン」を県内各地区16校で計画しています。大学生の指導者は28人です。児童生徒は、自校の実態を基に、大学生とともにネットトラブルへの理解を深め、よりよい情報端末機器の利用について意見を出し、考えていきます。

例えば、小学校では情報の発信時や受信時の注意点について考えたり、中学・高校では、様々な事例（電子媒体での売買や誹謗中傷のによる書き込み、詐欺など）に関する危険性や留意点、対処法などを考えたりすることで、今後の情報機器の使い方について理解を深める場になっています。

〇〇のときはどのように対応したのですか。

みんなだったら、どうすればいいと思う？



「大学生に質問！」（鶴田中学校H29. 7. 18）

### 【生徒の感想】

〇 ネットトラブルにあわないために、情報を発信・受信するときに、どのようなことに気をつけたり、注意したりする必要があるか、また、ネットトラブルにあったらどうやって対処していけばよいかを考える良い機会になった。

### 【受け入れ校の感想】

〇 大学生が実際にあったトラブルを分かりやすく、話してくれたことで、生徒は、ネットトラブルについて真剣に考えていた。  
〇 年齢の近い大学生と共に授業を行うことで、ネットトラブルが身近な問題であり、正しく活用することを印象づけられた。

### さらなる意識の高揚を

ネット問題は、どの校種においても喫緊の課題です。各学校においては、自校の実態を踏まえながら、様々な機関等から配布されるネット問題に対応する啓発資料を活用して、児童生徒はもとより保護者に対する情報モラル、情報セキュリティへの意識高揚を図っていきましょう。